

東大見学 座談会で学んだこと

夏休みに熊谷高校、熊谷西高校、本庄高校、秩父高校と熊谷女子高校の生徒が勉強合宿に参加しました。その時に東京大学を訪問し、東大の授業や研究室訪問等をおこないました。現役東大生徒の座談会もあり、その時に学習方法や考えについてさまざまなアドバイスをいただきました。その時のアドバイスを生徒たちがまとめたものを、以下に載せました。今後の学習の参考にしていただければと思います。

- 高校生のうちに基礎を固めておくことが大切。
- 二次対策をしているとそれがセンター対策にもつながる。
- 東大っていうとあまりにも自分とは遠い存在すぎて、よくわからなかったけど、東大生のお話を聞いてみると意外と参考になることが多くてびっくりした。
- 文系・理系の型に最初からあてはめなくて、さまざまな分野を知る！
- 物事の食わず嫌いはダメ！
- 目標がまだなくても、いつかできる目標のために学んでいることを忘れない。
- 目標から逆算して何をやる必要があるのか考えて行動する。
- 様々な分野の入門書を読んで様々な分野を知る。
- 暗記科目は一回で覚えようとしなくて、少し雑でも何回か繰り返す。
- 長期休みは出来る計画を立てて、計画的に実行する。
- 夏休みを有意義に過ごすためには、達成しやすい目標をつくること。
- 暗記はつなげて覚えること。
- 新書を読んだほうが良い。
- もしかしたら将来やりたいことが変わるかもしれないので、苦手教科を捨てない。
- 東大生活(大学生活)が充実していて楽しそうだった。
- 赤本はできるだけ早く手をつける。(見るのが大切)
- 2次対策がそのままセンター対策にもつながる。(国語以外)
- 数学は早めにやっていた方がいい。
- 東大入学という実績を出している東大生の勉強法を生で聞けてよかった。
- 東大生は天才軍団というイメージが強かったが、自分と同じで挫折をしていたり迷うことがあったりして、そんなに人としての差はないんだなと思った。
- 東大生も勉強のやる気が起こらない時もあると知れた。
- 大学がどういうところであるかを詳しく聞いた。
- 東大生の人のはものすごく勉強しているのかと思ったが、予想より短かった。
- 勉強は一気に集中してやるより毎日少しずつやった方が効果がある。
- 英語や数学は結果が出るまで時間がかかるが、コツコツやれば力は身に付いていく。
- ”東大生”と聞くと、自分とはほど遠い存在のような気がしていたけれど、同じような悩みを抱えていたのに驚き、また、身近に感じられた。
- 勉強法について教えていただいた。10分休みを入れたりだとか、やりたくない日は無理にやらなくていいとか…。また、”単語3つだけでも覚える”などの小さな目標を立てることが大事だと教えていただいた。
- 大きい目標でなく小さい目標を立てて実践する。
- 今やるべきことをやる。
- 1日1日小さな目標でもいいので勉強しない日をなくすなど、勉強のアドバイスもたくさんあった。

- 国数英は1・2年のうちからやっておいた方が楽。
- 将来の目標は、2・3年先ぐらいまでにしておいて、とりあえず今を頑張る。
- 話が上手い。情報量が多いと思った。
- 東大を目指したきっかけが、周りの雰囲気など意外な理由だったので驚いた。
- 数学の勉強法:ただ単に解くだけでなく、まるで人に教えているかのように解き方を声に出して言うことで記憶に残りやすい。
- 模試:点数はあまり気にしなくていいが、解き直しが重要。
- 英語:毎日10分~15分でもいいから、とにかく毎日英語に触れることが大切。単語もただ覚えるだけでなく発音なども重要。
- 予習・復習はした方がいい。
- 英語は毎日やった方がいい。
- 東大生は意外と優しい。
- 勉強は量が大事。
- 10年後よりも2年後を考える。
- 先生の言うことはきく。
- 自分の知りたかったものを的確に助言していただいた。
- 東大生の高校時代の話や受験のためにどのような日々を過ごしていたのか聞けたため、大変参考になった。
- 勉強は「つながり」が大事だと学ぶことができた。
- センター試験対策のための勉強をいつごろやり始めればよいかわかったと思う。
- 数学は3年になるともっと難しくなるということ。
- 今は勉強が楽しくなくても、この先自分のやりたいことを見つけたとき、それを実現するための基礎となるということ。
- 東大生はいくら口では「勉強は嫌いです」と言っても、本当は1日15時間くらい勉強してた(受験期に)と思っていたのですが、高校(特に1年)はもっと楽しんだ方が良くと言われ、ガリ勉について見直すきっかけになりました。
- 現役の東大生にお話を聞く機会はなかなかないので良い経験ができた。
- まずは得意な教科をつくること、それができれば勉強が苦ではなくなるというアドバイスをいただいた
- 上を目指すのに理由は要らない。後で後悔しないように。
- わからない問題があったときは、時間があるならば悩み続けることが大事!⇒考える力がつくようになる!
- 問題をたくさん解いて出題パターンをつかむ。
- やる気が出ないときは好きな教科を勉強。
- 先生などに聞いて自分に合った勉強法を探す。
- 数・英は1年の時からしっかりと積み重ねていったほうがよい。
- 1日に少しでもいいから勉強する習慣をつける。
- 模試は必ず復習。
- 理系だったら理系の教科、文系だったら文系の教科の勉強だけでいいと思っていたけれど、バランスよく勉強していくことが大切だとわかりました。
- 自分に合った勉強方法で、自分で試行錯誤しながら工夫して勉強することで見につく。
- ”1日30個英単語を覚える”より”1日3個英単語を覚える”という方法があり、毎日少しずつ確実に積み重ねるという考え方が心に残った。
- 自分の時間割を作ること。(やること)
- 平日1時間半~2時間、休日10時間(知ったこと)

いた。